

短時間の強い雨（平成 11 年 10 月）

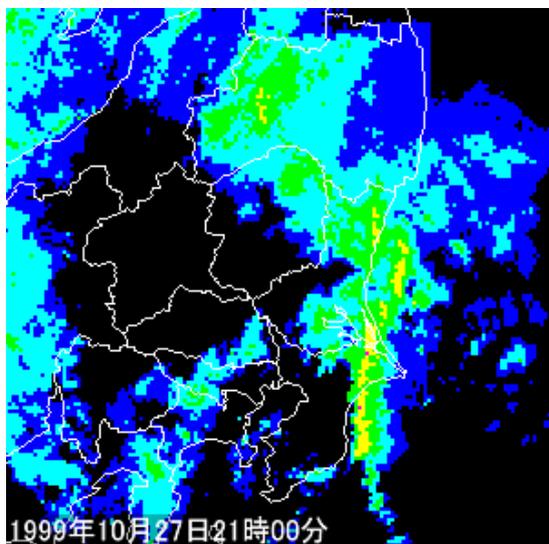
短時間の強い雨は、大気の状態が不安定となり、積乱雲が発達して降ることが多く、5月から10月頃に多く発生します。特に、春や秋は、地上と上空の気温の差が大きくなるため、積乱雲が発達することが多くなります。1時間降水量の1位の記録も、秋に発生しています。

1999年(平成11年)10月27日、低気圧が関東地方の近くで急速に発達しながら進み、低気圧の後面に乾燥した冷たい空気が引き込まれ、低気圧中心付近の発達した雨雲で、20時14分から21時14分にかけての1時間に88.0mmの雨を観測しました。雨雲は、千葉県から茨城県の海岸沿いに線状に分布し、全体的にはゆっくりと東へ進みながら、個々の雨雲は北上したため、強い雨が続きました。

また、この発達した雨雲の北端である、川尻港沖付近において竜巻も発生しています。

発達した積乱雲が近づいてくると、ひょう、雷、竜巻などの突風、大雨により道路の冠水や家屋の浸水など、激しい現象が発生し、被害をもたらすことがあります。

1999年（平成11年）10月27日21時の降水レーダー図



今年の秋の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、平年並みから高い気温となり、降水量は平年並みの予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	9月	10月	11月
平均気温（℃）	21.8	16.8	11.9
降水量（mm）	178.8	173.3	78.3
日照時間（時間）	134.3	151.2	157.9
平均湿度（%）	80	74	67

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。